

第2章. 豊川市のバリアフリーに関する現況

1. 豊川市の概要

(1) 位置・面積

本市は、愛知県の東部に位置し、市域約 160.75k m²の東三河地域の中核的な都市です。北側は木曽山系の本宮山をはじめとする山々が連なり、東部には豊川、西部には音羽川、中心部には佐奈川が流れ、本市の南西部にある三河湾に注いでいます。東名高速道路や国道1号、国道23号、国道151号、国道362号等が通っており、東三河の道路交通の要衝となっています。豊川稲荷や御油のマツ並木は全国的に知られており、歴史的建造物等も数多く残っています。

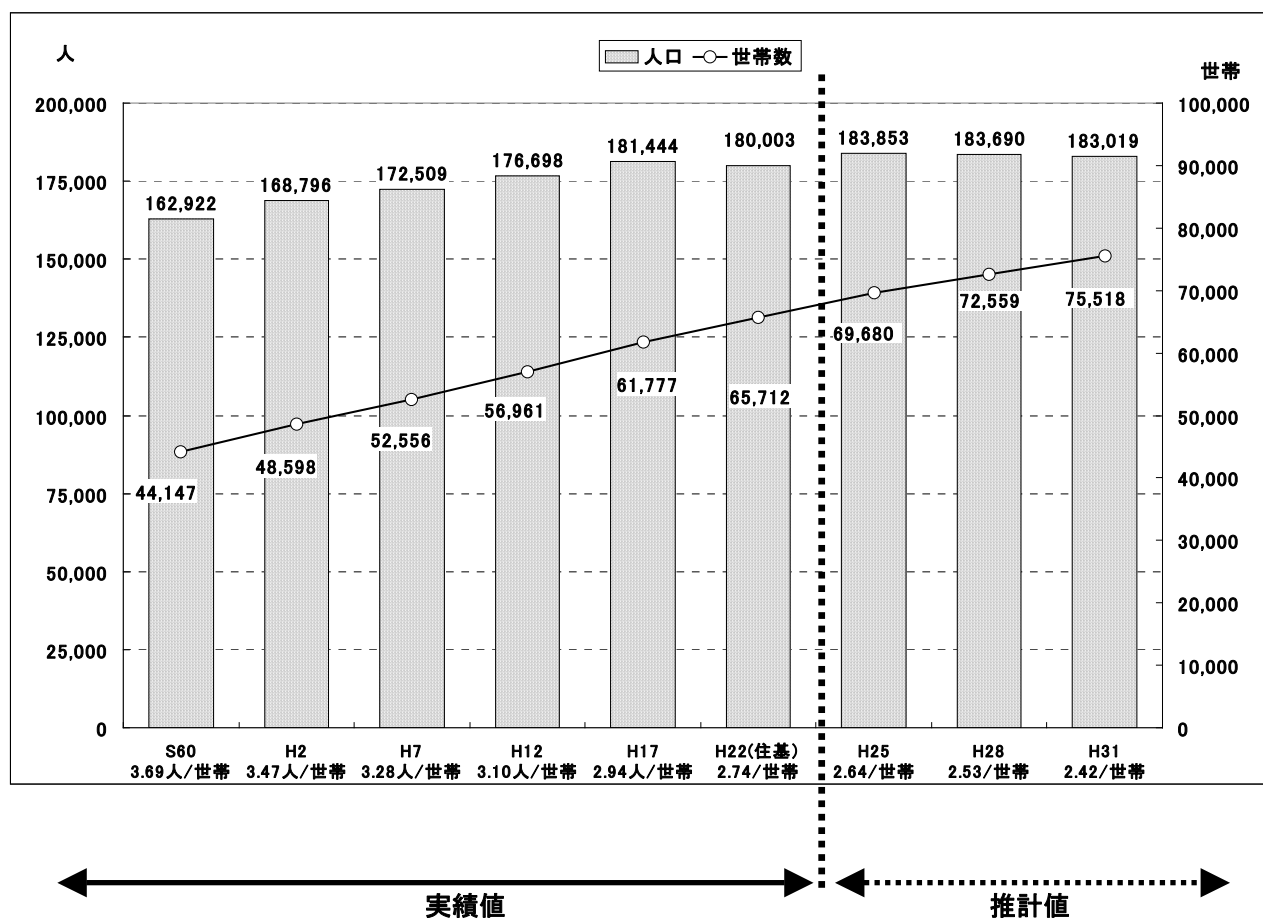


※上記の図の網掛け部分が豊川市、赤線内は東三河都市計画区域を示す。

(2) 人口・世帯数の推移

本市の人口は、近年微増状態が続いており、平成 17 年には 18 万人を超えています。世帯数も増加し続けており、平成 17 年には 61,777 世帯となっています。人口に比べ世帯数の増加率が大きく、1 世帯当たりの世帯人員は減少し続けており、平成 17 年には 2.94 人/世帯となっています。将来人口の推計値では、増加傾向にあった人口は平成 27 年から減少に転じることが見込まれています。

【人口と世帯の推移】



資料：実績値 国勢調査（平成 22 年のみ住民基本台帳）

推計値 新市基本計画

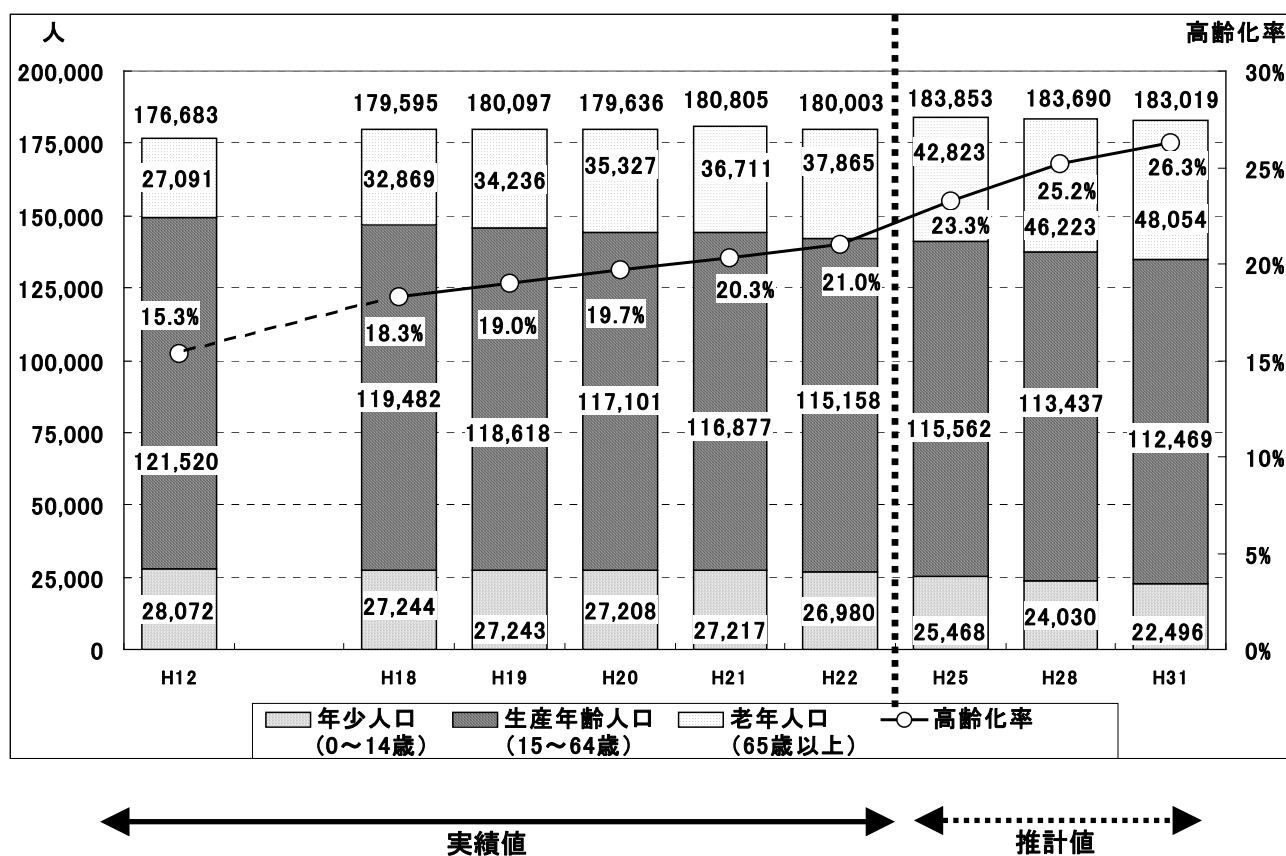
※ 合併前の数には、旧一宮町（H18 年合併）、旧音羽町・旧御津町（H20 年合併）、旧小坂井町（H22 年合併）分を含む。

(3) 年齢別人口

本市の年齢別人口推移をみると、15歳未満の年少人口および15歳から64歳の生産年齢人口が減少している一方で、老年人口については増加し続けています。この結果、65歳以上の老年人口が総人口に占める割合である高齢化率は、平成12年から平成22年にかけての10年間で15.3%から21.0%に上昇しています。将来人口の推計値をみると、平成22年以降も老年人口は上昇が続き、平成31年の高齢化率は26.3%になることが見込まれています。

また、年齢5歳階級別人口をみると、50歳代後半から60歳代にかけての人口が多く、今後急速に高齢化が進行することがうかがえます。

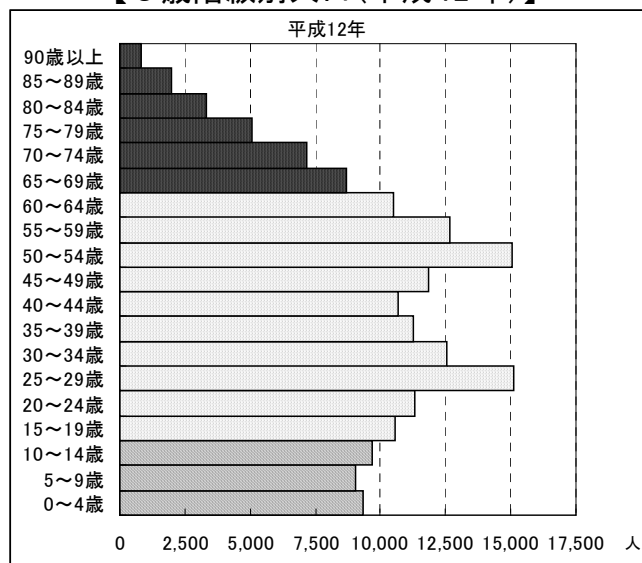
【年齢別人口と高齢化率の推移】



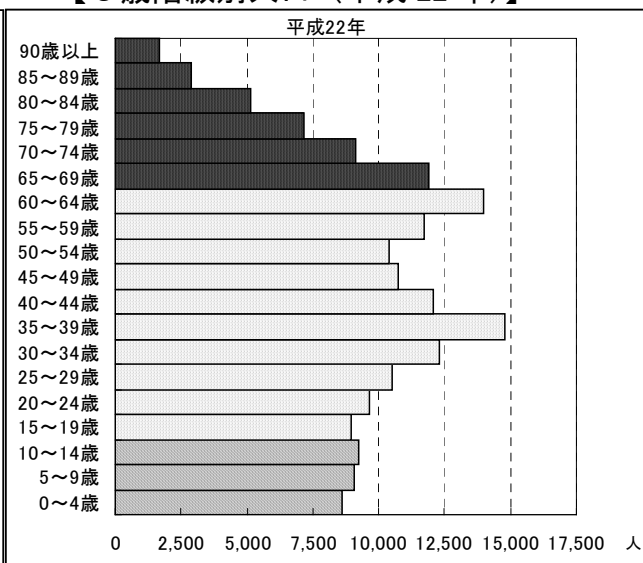
資料：実績値 住民基本台帳（平成12年のみ国勢調査）
推計値 新市基本計画

※ 合併前の数には、旧一宮町（H18年合併）、旧音羽町・旧御津町（H20年合併）、旧小坂井町（H22年合併）分を含む。

【5歳階級別人口(平成12年)】



【5歳階級別人口(平成22年)】



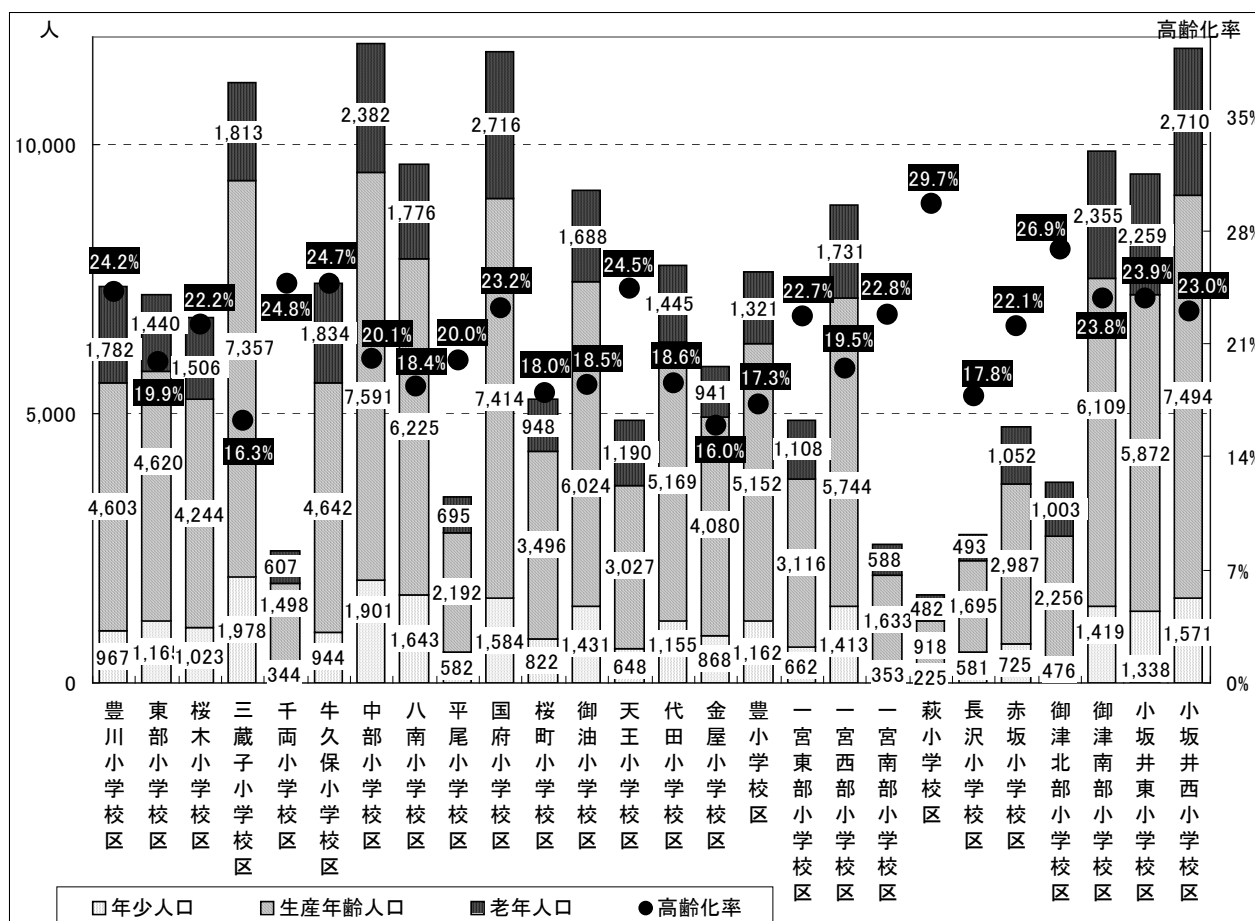
資料：住民基本台帳（平成12年のみ国勢調査）

※ 合併前の数には、旧一宮町（H18年合併）、旧音羽町・旧御津町（H20年合併）、旧小坂井町（H22年合併）分を含む。

(4) 小学校区別人口と高齢化率

小学校区別にみると、人口は中部小学校区で最も多く、次いで小坂井西小学校区、国府小学校区の順となっています。高齢者数は国府小学校区で最も多く、次いで小坂井西小学校区、中部小学校区の順となっています。一方、高齢化率については萩小学校区、御津北部小学校区で高くなっています。

【地区別の年齢別人口と高齢化率】



資料：平成 22 年 4 月 1 日住民基本台帳

【豊川市小学校区図と高齢化率】



(5) 障害者（児）数の推移

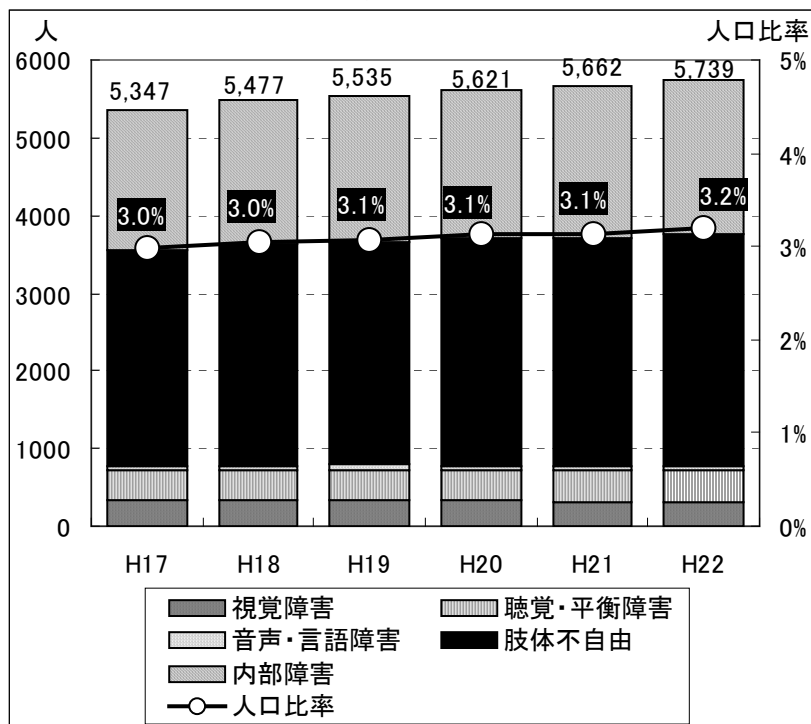
本市における身体障害者（児）、知的障害者（児）、精神障害者（児）は、人数および本市の人口に占める割合とともに増加しています。

身体障害者（児）数に占める障害の種別をみると、肢体不自由が最も多く、次いで内部障害が多く見られます。

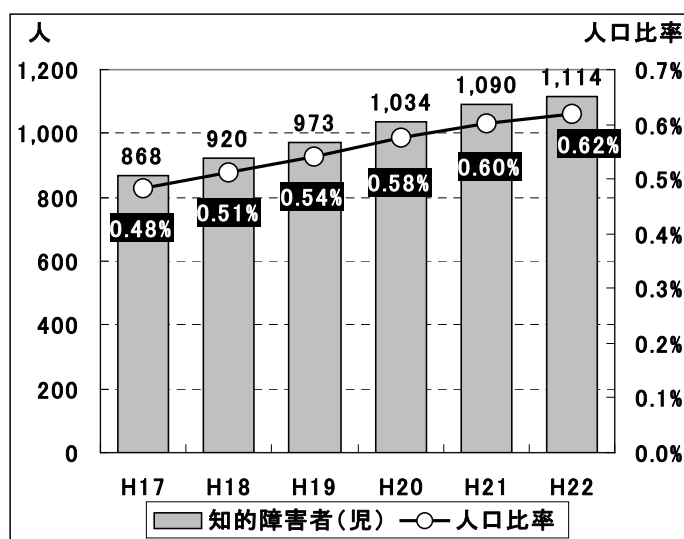
【障害種別人数】

種別		人数
身体障害者（児）	視 覚 障 害	314
	聴 覚・平 衡 障 害	401
	音 声・言 語 障 害	58
	肢 体 不 自 由	2,996
	内 部 障 害	1,970
	小 計	5,739
精神障害者（児）		823
知的障害者（児）		1,114
合 計		7,676

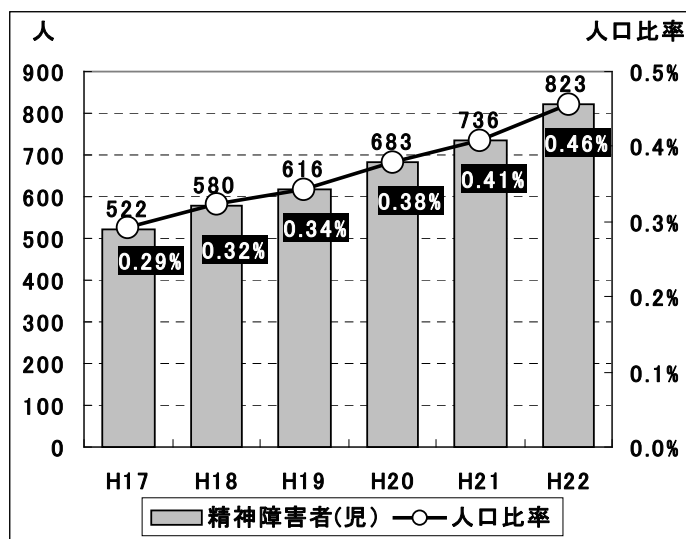
【身体障害者（児）数の推移と人口比率】



【知的障害者（児）数の推移と人口比率】



【精神障害者（児）数の推移と人口比率】



資料：豊川市福祉課

※ 合併前の数には、旧一宮町（H18年合併）、旧音羽町・旧御津町（H20年合併）、旧小坂井町（H22年合併）分を含む。

(6) 公共施設等の分布状況

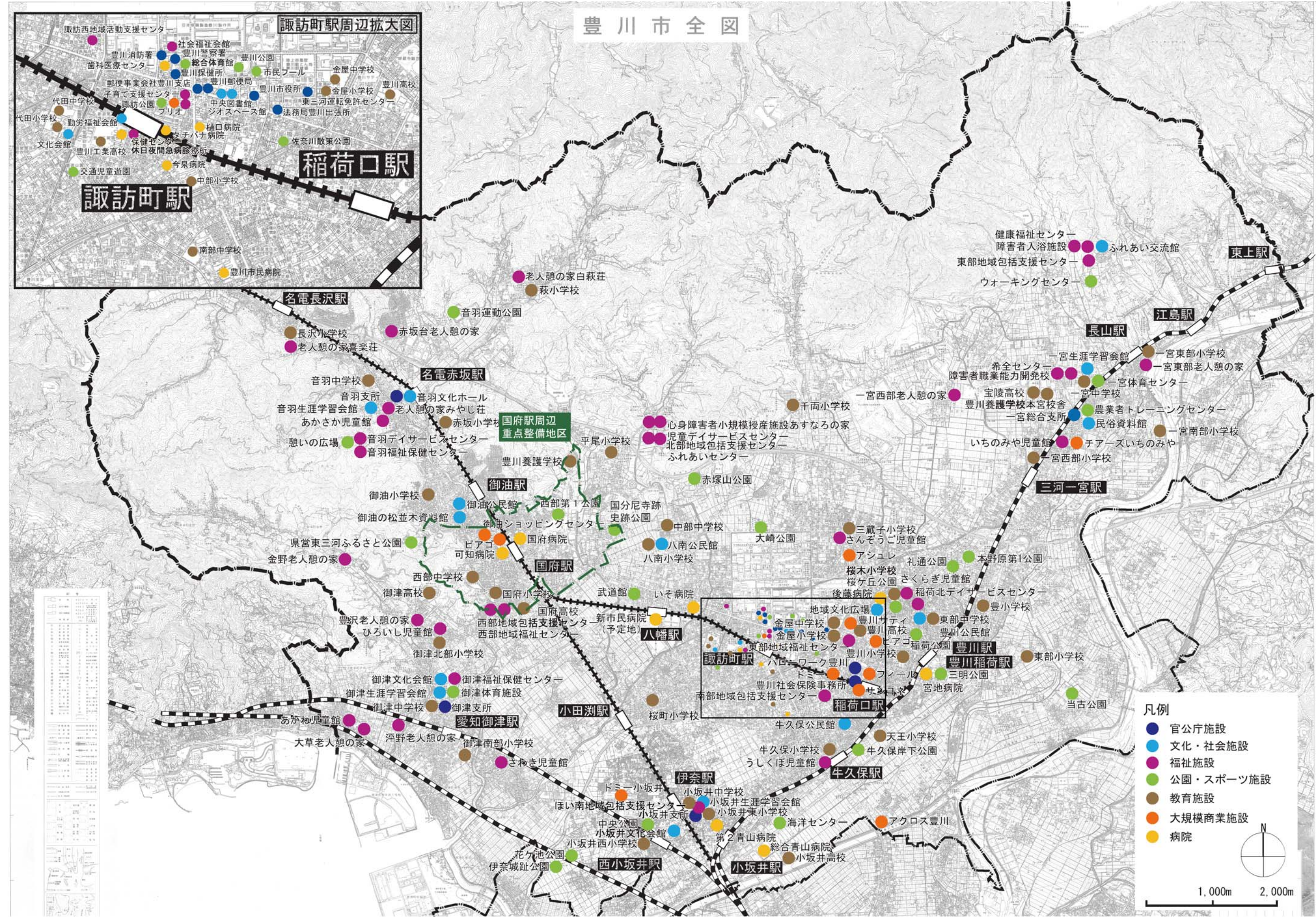
市における公共施設等の分布状況をみると、市役所、豊川駅、諏訪町駅周辺の中心市街地に施設が最も多く集積しています。また、一宮総合支所、音羽支所、御津支所、小坂井支所の各支所を中心に施設の分布が見られます。

また、八幡駅周辺には、駅に隣接して新市民病院が建設される予定となっています。

《施設の内容》

官公庁施設	市役所、支所、警察署、保健所、郵便局、法務局、社会保険事務所 等
文化・社会施設	図書館、文化会館、勤労福祉会館、生涯学習会館 資料館、公民館 等
福祉施設	福祉保健センター、社会福祉会館、地域福祉センター 等 《高齢者福祉》 施設（老人憩の家）、地域包括支援センター、デイサービスセンター 等 《障害者福祉》 障害福祉施設、障害者入浴施設、障害者支援施設、障害者職業能力開発校 等 《児童福祉》 子育て支援センター、児童館 等
公園・スポーツ施設	体育館、公園、プール 等 ※次頁の図の公園は 10,000 m ² 規模以上に限る
教育施設	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校（養護学校）
大規模商業施設	2,000 m ² 規模以上の商業施設 ※次頁の図は、食料品を販売する上記規模の店舗に限る
病 院	病院、休日救急夜間急病診療所 等 ※次頁の図の病院は、相当数の病床を有する施設に限る

■公共施設等の分布状況図



(7) 公共交通機関の利用状況

①鉄道

本市には、JR 飯田線・東海道本線、名古屋鉄道名古屋本線・豊川線 が通っており、JR 9 駅、名古屋鉄道 10 駅が立地しています。乗降客数は平成 9 年から減少傾向にありますが、増加傾向を示す駅もあります。市内全駅の中で、JR 豊川駅、名古屋鉄道国府駅の 2 駅が 1 日あたりの乗降客数が 5,000 人以上となっています。

【各駅 1 日乗降客数（人）】

◇JR（平成 18 年）

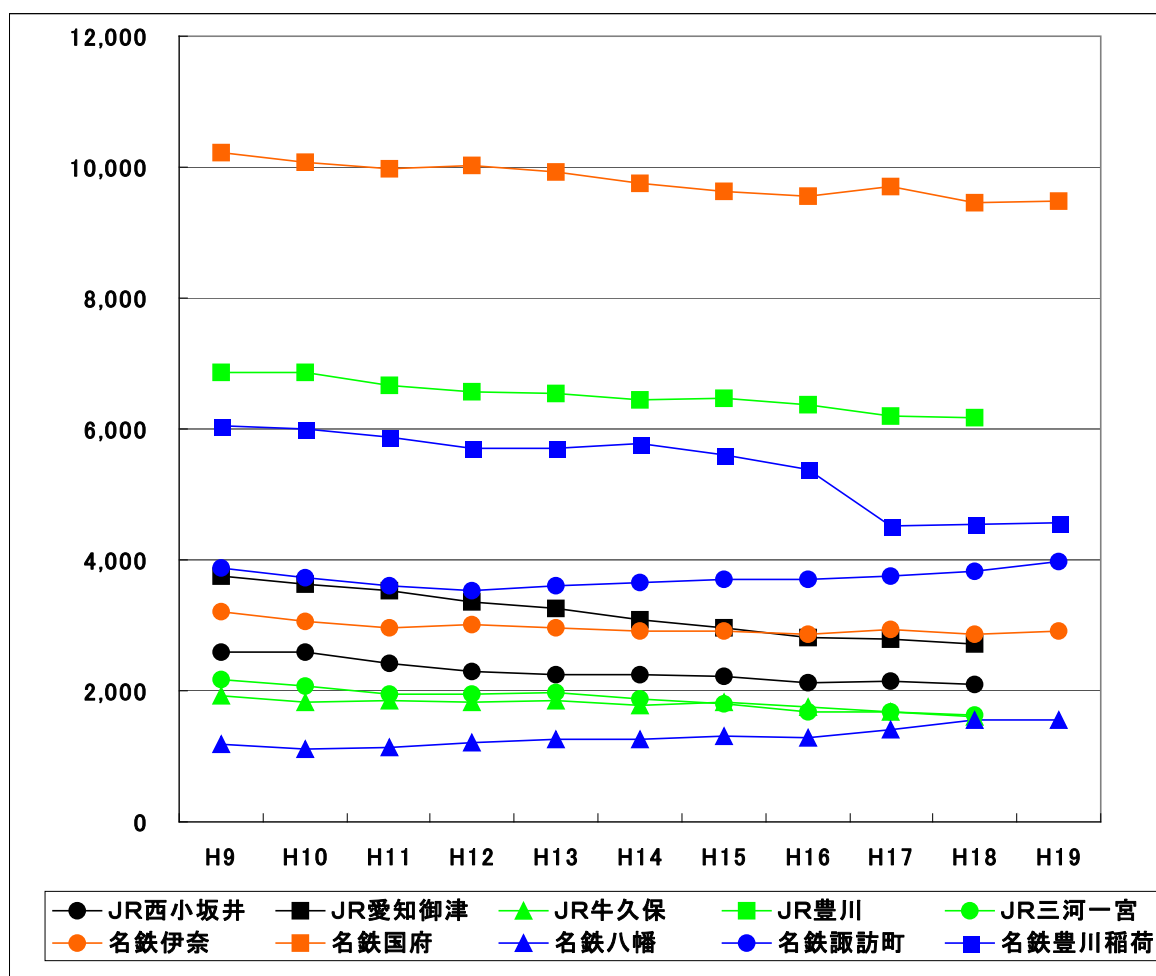
西小坂井	愛知御津	小坂井	牛久保	豊川	三河一宮	長山	江島	東上
2,094	2,707	872	1,611	6,169	1,635	367	199	317

◇名鉄（平成 19 年）

伊奈	小田渚	国府	御油	名電赤坂	名電長沢	八幡	諏訪町	稲荷口	豊川稲荷
2,909	444	9,494	612	946	451	1,567	3,984	799	4,559

資料：（東海旅客鉄道株式会社、愛知県統計年鑑・豊川市の統計 各年次）

【鉄道駅の 1 日あたり乗降客数の推移】



JR は平成 18 年、名鉄は平成 19 年で 1,000 人以上の駅を掲載

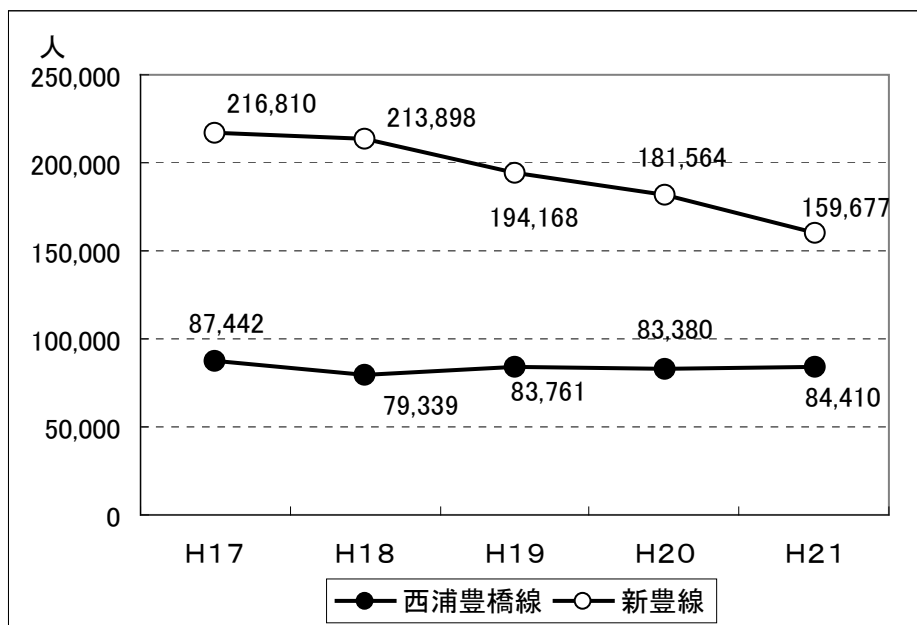
②バス

(民間バス)

民営の広域路線バスとして、市役所・JR 豊川駅周辺を通り豊橋市と新城市を結ぶ新豊線、御津地区を通り豊橋市と蒲郡市を結ぶ西浦豊橋線の2路線があります。

利用者数をみると、平成 17 年から西浦豊橋線は横ばい傾向にあるものの、新豊線は年々減少傾向にあり、平成 17 年の 216,810 人から約 3 割の利用者数が減少し、平成 21 年は 159,677 人となっています。

【民間バスの年間利用者数推移】



資料：豊川市地域安心課

(市委託バス)

・コミュニティバス

音羽地区を走るコミュニティバスとして、赤坂・赤坂台線、萩・長沢線の2路線があります。利用者数は平成17年から両路線ともに減少しており、平成21年では赤坂・赤坂台線は年間6,501人の利用客、萩・長沢線は年間10,545人の利用客となっています。

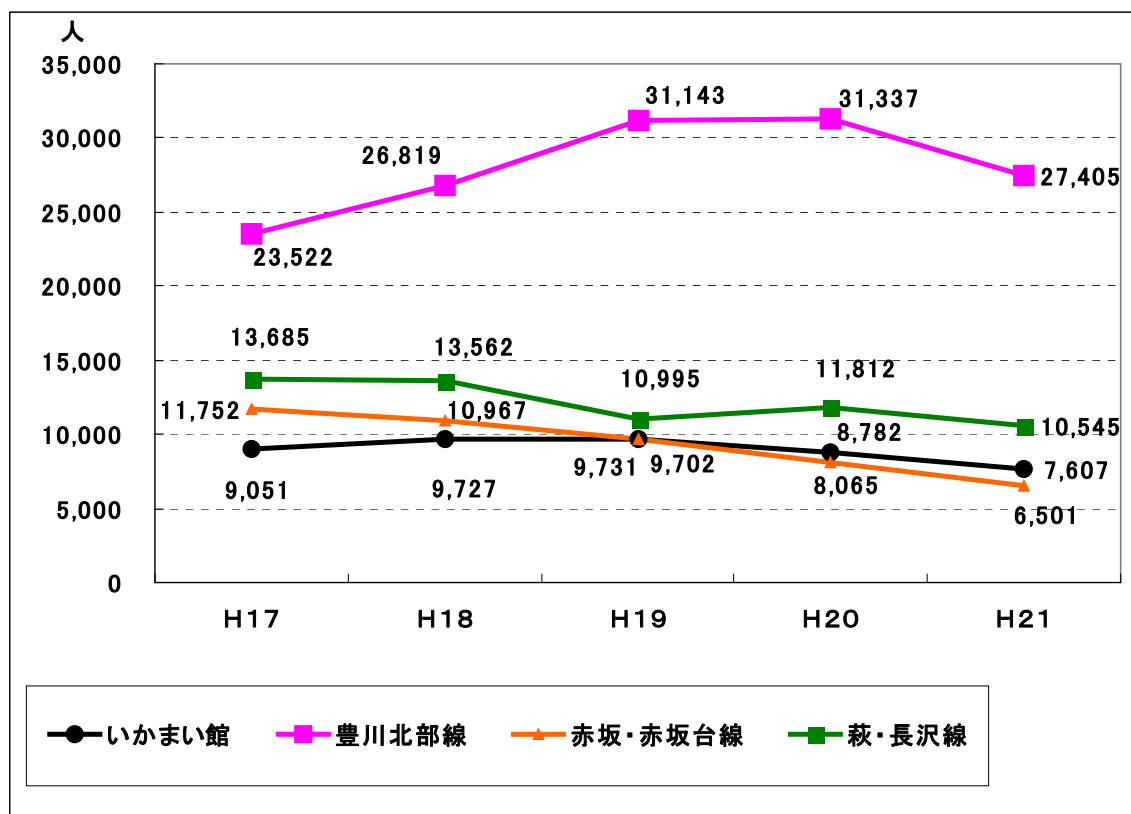
・豊川北部線

市街地北部を通る JR 豊川駅と名鉄国府駅を結ぶ豊川北部線があります。利用者数は、平成19年までは増加傾向にありましたが、平成21年は年間27,405人と減少に転じています。

・いかまい館号

一宮地区の健康福祉センター送迎バスとして、いかまい館号があります。利用者数は平成17年からは増加傾向にありましたが、平成19年から微減傾向に転じており、平成21年には年間7,607人の利用客となっています。

【市委託バスの年間利用者数推移】

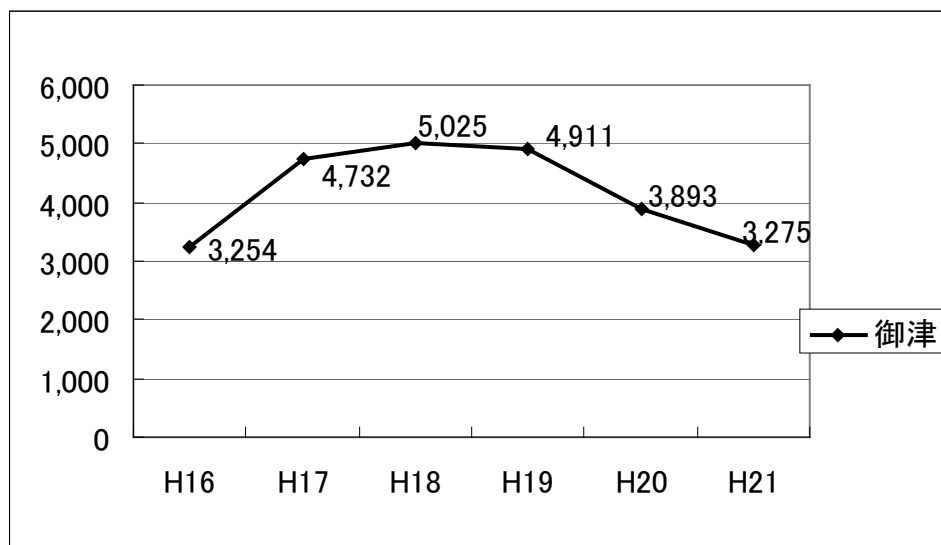


資料：豊川市地域安心課

・福祉乗合タクシー

御津地区を走る福祉乗合タクシーがあります。利用者数は平成16年から増加傾向にありましたが、平成19年から減少に転じており、平成21年には年間3,275人の利用客となっています。

【福祉乗合タクシーの年間利用者数推移】



資料：豊川市地域安心課

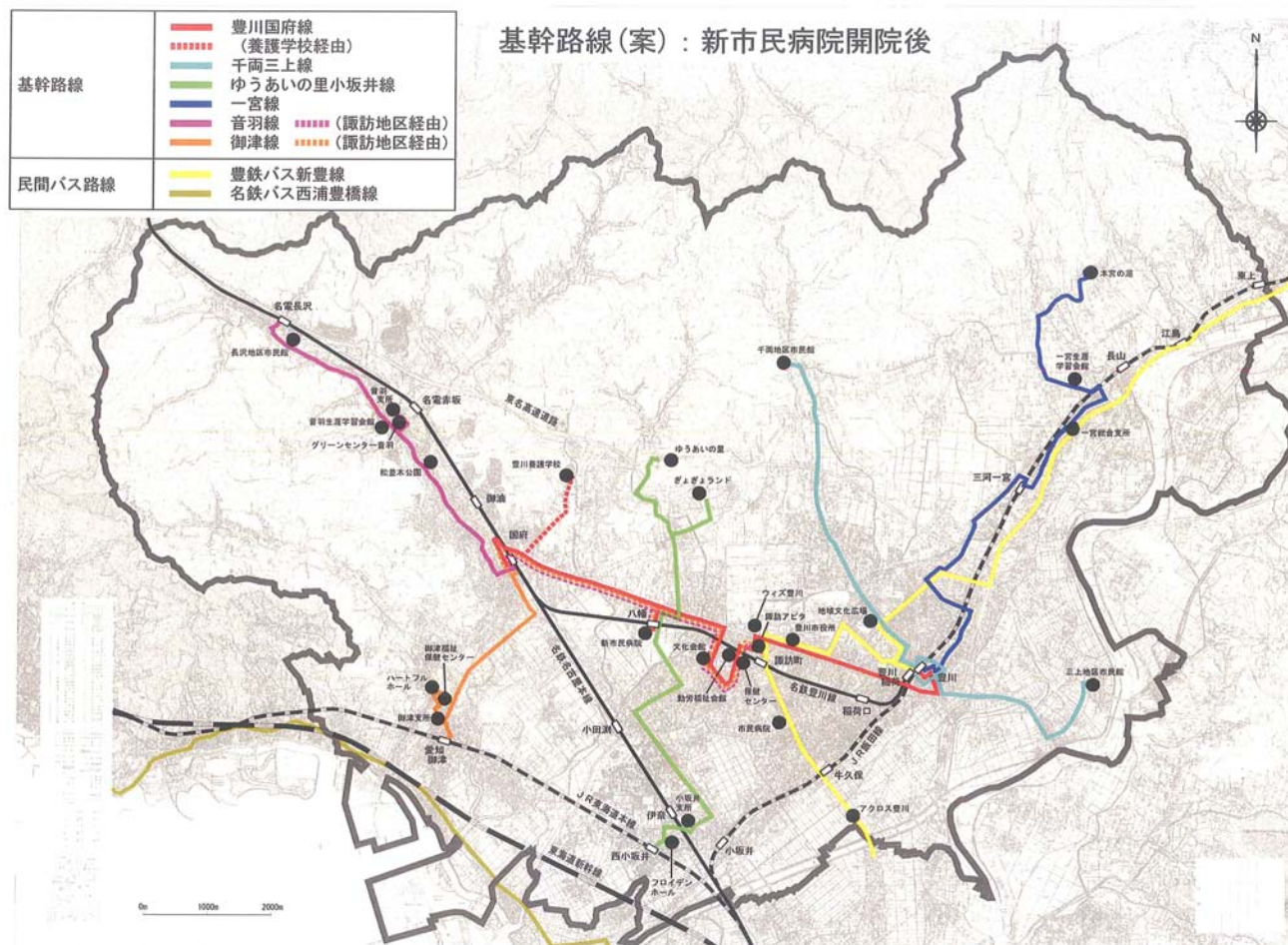
【豊川市バス・タクシー路線図】



■豊川市地域公共交通総合連携計画

本市では、市域全体の公共交通の基本的なあり方を定める「豊川市地域公共交通総合連携計画」を策定し、市民ニーズに対応した持続的かつ効率的な公共交通の見直しを行います。現在のバス基幹路線（案）は次の通りです。

【バス基幹路線（案）】



2. ヒアリング調査のまとめ

(1) ヒアリング調査の概要

市内の障害者団体等に対して、本市のバリアフリー整備の状況を把握するため、ヒアリング調査を実施しました。

	団 体 名	会 場	時 間
平成 22 年 7 月 13 日 火	精神障がい者家族会むつみ会	都市計画課内	11:00～
	呼吸器友の会	ウィズ豊川	13:30～
7 月 14 日 水	知的障害者育成会	ウィズ豊川	9:00～
	子育てネット	こどもの広場	10:30～
7 月 16 日 金	身体障害者福祉協会 身体障害者福祉協会視覚障害者福祉部会	ウィズ豊川	10:00～
7 月 20 日 火	肢体不自由児（者）父母の会	東部地域福祉 センター	11:00～
7 月 24 日 土	ろうあ者福祉協会	小坂井 生涯学習会館	9:00～
7 月 26 日 月	老人クラブ連合会	ウィズ豊川	14:30～

(2) ヒアリング調査の結果

ヒアリング調査の主な意見は、次の通りです。

凡例

呼 吸 器 友 の 会	→ (呼)	身 体 障 害 者 福 祉 協 会	→ (身)
知 的 障 害 者 育 成 会	→ (知)	肢 体 不 自 由 児 (者) 父 母 の 会	→ (肢)
精 神 障 が い 者 家 族 会 む つ み 会	→ (精)	ろ う あ 者 福 祉 協 会	→ (ろ)
子 育 て ネ ッ ト	→ (子)	老 人 ク ラ ブ 連 合 会	→ (老)

① 鉄道駅について

■ 名鉄八幡駅について

- ・新市民病院への移動を確保するため、八幡駅にエレベーターを設置してほしい。
(呼) (肢) (老)
- ・八幡駅にエレベーター設置をする際は、ホームから近いところに取り付けてほしい。車いすや高齢者の方がエレベーター近くに降りられるように、サイン等の表示を考えてもらいたい。(身)
- ・新市民病院のできる八幡地区でバリアフリー化してほしい。電車で通院が可能なようにしてほしい。(精)
- ・八幡駅および、新市民病院周辺の道路にはすべて歩道を整備してほしい。(身)
- ・橋上の八幡駅ホームの高さから直接、新市民病院へ行けるようにしてほしい。(老)

■名鉄国府駅について

- ・子どもが養護学校へ通うため、国府駅を使う予定であるが、駅までの道中が歩車分離されていないので危ない。(知)
- ・エレベーター設置やホームのかさ上げが整備され、ベビーカー使用時や車いすや高齢者にとって使いやすくなった。(知)(子)
- ・国府駅の駅舎はバリアフリー整備されたが、駐車場が階段でしか移動できず、車いすの子どもを駐車場の外に一人にして車を停めないといけいないので、国府駅は利用できない。(肢)

■名鉄諏訪町駅について

- ・身体障害者が体の向きをかえるのに、諏訪町駅のホームは幅がせまくて危ない。(身)
- ・八幡駅のように橋上駅にしてほしい。諏訪町駅等の他の地上駅では踏切の横断が危ない。(ろ)

■名鉄名電長沢駅、名鉄名電赤坂駅について

- ・名電赤坂駅、名電長沢駅は、ホーム間移動は線路を渡らなくてはいけいないので怖い。車いすの前輪がはまってしまうことがあるので心配である。(身)
- ・名電赤坂駅、名電長沢駅は車いすではトイレを利用できない。(身)

■名鉄伊奈駅について

- ・伊奈駅は駐車場からバリアなしで駅舎やホームまで行ける。障害者用駐車施設がないと、車いすの子どもを一人にして車を止めないといけいないので、そのような駅は利用できない。(肢)

■JR豊川駅・名鉄豊川稲荷駅について

- ・豊川駅から豊川稲荷駅への移動中バリアはないが、スムーズな動線となるようにしてほしい。(呼)
- ・豊川駅から豊川稲荷駅への移動はできるが、一度駅舎外に出ると歩道に凹凸があり、酸素を入れたボンベのキャスターが揺れて辛い。(呼)

■JR三河一宮駅について

- ・呼吸器障害者にとって、ホーム間は跨線橋を渡らなくてはいけいないので体力的にきつい。呼吸器障害者は外見からの判断が難しく、駅員や周りの人等に自ら声をかけなければ対応してもらえない。(呼)
- ・三河一宮駅周辺は総合支所があり、福祉障害者関連の施設、養護学校もあり、バリアフリー化を進めていく必要がある。(知)
- ・豊川養護学校の生徒は三河一宮駅を利用している子もいる。(知)

■JR牛久保駅について

- ・牛久保駅のトイレは車いすでは使えない。(身)

■JR愛知御津駅について

- ・愛知御津駅は上り線のホームは問題ないが、下り線のホームへは跨線橋を渡らなければいけいないので車いすでは行けない。(身)

■その他

- ・車両とホームの段差がある駅があり、高齢者や障害者への対応は必要だと思う。

(身)

- ・ J R の駅の電光掲示板では緊急情報が表示され、電車が遅れる等の情報が得られる。どの駅もこのように整備してほしい。(ろ)
- ・ 車内で緊急情報が電光掲示板に流れるようにしてほしい。(ろ)

②施設について

■商業施設について

- ・ 障害者用駐車施設に一般の車が停めないように色が塗ってあり、障害者の方がいつも利用できる。(呼)
- ・ 店内にこう配のある箇所があり、カートやベビーカーから手が離せない。(子)
- ・ 子ども連れにとってトイレはオムツを換えること等にスペースが必要であり、ショッピングカートごと入れるような広さが必要だ。(子)
- ・ 上りのエスカレーターしかないスーパーがある。下りも整備してほしい。下りのほうが障害者や高齢者にはバリアとなる。(身)

■新市民病院について

- ・ 八幡駅および、新市民病院周辺の道路にはすべて歩道を整備してほしい。(身)
- ・ 新しい市民病院には期待が大きい、障害者が使いやすければ健常者にも使いやすく重点的にバリアフリー整備が必要だと思う。(呼)
- ・ 八幡駅にエレベーターを設置したとしても、駅から新市民病院へ安心していけるかが心配である。(身)
- ・ 障害者や高齢者にとって使いやすい病院となるように、新市民病院に期待したい。(精)
- ・ 新市民病院の待合室には、横になれる凹凸のない平らな長いすにしてほしい。(肢)
- ・ 名前を呼ばれても聞こえないので、受付では整理番号等を配布して、電光掲示板で呼び出しをするようにしてほしい。(ろ)
- ・ 体のことはプライバシーもあり、病院には手話通訳者の同行なく一人で行きたい。病院に手話通訳者を配置する等の対応が理想である。(ろ)
- ・ 新市民病院が出来るとその周辺の道路は交通量が増えるので、歩行者が安心して歩ける道路の整備が必要である。(老)

■その他施設について

- ・ 災害時の情報表示を、どの施設にも整備してほしい。災害時はろうあ者が取り残されてしまう。(ろ)
- ・ 緊急時の情報が流れる電光掲示板の位置を示す、お知らせランプを設置してほしい。(ろ)
- ・ 公園と道路の間に段差があるのでフラットにしてほしい。(老)
- ・ マウントアップ歩道は自転車や歩行者にも危ないのでフラットな道路としてほしい。特に文化会館から市民病院にかけての整備が必要である。(老)

③バス利用について

■ルートに関する意見

- ・小坂井や御津から豊川までのバスルートを確保してほしい。(身)
- ・御津はバスがないので、循環バス等を運行してほしい。市民病院、市役所、国府駅を循環するバスがほしい。(身)
- ・コミュニティバスが時間通りにバス停に来ないことがある。また、電車とバスの時間的なずれ等連結が悪いので、スムーズな連結となるように対応してほしい。(老)

■バス停について

- ・豊川駅前のバス停の位置が分かりづらい。バス停に屋根があれば、知的障害者にとって目印になるのでわかりやすい。色を統一するとさらに認識しやすい。(知)

④道路に関する意見

■歩道に関する意見

- ・歩道がないところは子どもと歩くのに困る。(子)
- ・豊川市の市道はこう配のある箇所が見られ、年寄りには危ない。歩道は平らにしてほしい。(身)
- ・インターロッキングは、歩くときにガタガタして背中にかかなり負担がかかる。(呼)
- ・酸素ボンベをキャスターで運んでいるので、車輪が2つしかなく、少しの段差でも移動に支障となる。(呼)
- ・道路のグレーチングに車いすの車輪がはまってしまうと、自力では抜けないので、目地の細いものにしてほしい。(呼)
- ・三河一宮駅近くの通学路が拡張されたため、車がスピードを出すようになって危ない。(知)

■交差点に関する意見

- ・豊川稲荷前のスクランブル交差点で、車の信号と歩行者の信号を間違えて渡ってしまう観光客を見かける。(知)
- ・肢体障害者にとっては、横断歩道が長いと途中で信号が変わってしまうので怖い。私たちは走ることができないから怖い。(身)
- ・姫街道線の上宿交差点は交通量が多いため横断歩道が長く、養護学校の学生さん等が横断することに危険を感じる。今はボランティアさん頼みである。(知)
- ・国府駅周辺（追分付近）で、左折してくる車が怖い。信号は設置されているが、視覚に訴えるようなものがほしい。(知)

■その他の意見

- ・マーク表示は知的障害者に覚えやすいこともあり、知的障害者が安全に移動する方法としては良い方法であるが、マーク表示だけに意識が働き、周りが見えなくなる恐れがある。(知)

⑤トイレに関する意見

- ・利尿剤を服用しているので、トイレを頻繁に利用するのでトイレの整備をしてほしい。(呼)
- ・公園において、芝生や砂利を経由しなくてはならないトイレがある。トイレまでの経路はフラットな舗装にしてほしい。(呼)
- ・知的障害者にはトイレを我慢できない人もいるので、子ども連れ専用のトイレと障害者専用のトイレが必要である。(知)
- ・トイレが昔に比べ洋式に変わっていったのはいいが、車いすでは入ることさえできないところが多いので、トイレの便器3つ分を2つに整備する等、ゆったりとした使い勝手のいいものにしてほしい。(身)
- ・子ども用のベッドだけではなく、大人用のベッドがあると安心して利用できる。長いすでもよいので、各トイレに設置してほしい。(肢)

⑥障害者用駐車施設に関する意見

- ・障害者等は傘をさすことができないので、障害者用駐車施設には屋根があるといい。(子)
- ・スーパーの駐車スペースがせまいところは、車のドアを途中までしか開けることができないことがある。カートやベビーカーをドア近くまで寄せられない。(身)
- ・福祉車両の中には後ろから乗り降りする車種もあるので、後ろ側にもスペースのある駐車場としてほしい。(肢)

⑦その他の意見

- ・案内標識等のサインは、車いすの目線からでも見えやすいように配慮してもらいたい。(呼)
- ・豊橋市総合福祉センター（あいトピア）の計画時に、障害者の立場からのアドバイスを依頼されたことがある。あいトピアはバリアフリーが整備されていて利用しやすい。(呼)
- ・消防法上の課題があると思うが、各公共施設に緊急時のための酸素ボンベを設置してほしい。(呼)
- ・心のバリアフリーは必要であるが、毎回手助けしていただくのも本人（当事者）の心に負担となるので、普通の人と同じように生活できるまちとなることが理想である。(肢)
- ・合併前の小坂井町では、町内の詳しい情報（生活災害・事故等）が常に携帯電話のメールに送信されていた。豊川市でもさらに詳しい情報提供をお願いしたい。(ろ)
- ・障害者について理解を深める研修会等を開いてほしい。(ろ)